



# Tokachi csw にゆ～す

第56号 令和4年2月16日発行

発行：(公)北海道社会福祉士会十勝地区支部

編集：広報人材育成委員会

「つなぐ・ささえる・まもる・つくる・かえる

～つながりをつくる～

## 令和2年期 支部長挨拶

つなぐ・ささえる・まもる・つくる・かえる

～つながりをつくる～

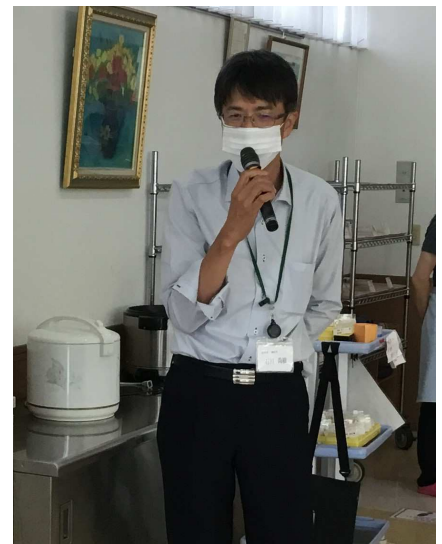
(公社)北海道社会福祉士会十勝地区支部

支部長 石川 尚 樹

みなさん、こんにちは！令和2年期の支部長を務めることとなりました石川です。普段は、帯広市にあります救護施設に勤めております。役員に選出された方々はじめ会員の皆さんと一緒に、支部の運営に精一杯取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

皆さんもご存じだと思いますが、十勝地区支部のスローガンは「つなぐ・ささえる・まもる・つくる・かえる」です。新型コロナウイルスという目に見えない微細な存在により、この1年半ですっかり社会のありようが変わりました。手と手をつなぎ、日々の営みをささえ、その方の権利をまもることが良しとされてきました。手と手をつなぐことで心と心がつながり、日々の営みを感じることでその生活をささえ、それらを通してまもることを見極めてきました。しかし、今は、対面が制限される日々、新たな方策を模索する日々、慣れないオンラインの活用に四苦八苦する日々。画面越しでしかつながることができない、必要最小限しかささえることができない、まもらなければならない事を見逃しているかもしれない。そんなことを、ローテクで前時代的な生活の長い私は日々考えています。

つくるという字には、作る、造る、創ると3つの漢字が思い浮かびます。それぞれを使い分けながら皆さんも生活していると思います。作るという字の用法は小規模、無形なものをつくる時に使う。造るは大規模、有形なものをつくる時。創るは新しく、初めてつくる時に使うそうです。先に書いたようにコロナ禍のなか、人とひとのつながりも、以前の通りには行かなくなりました。つながりをつくる難しさも感じています。どのようなつながりならつくれるのか。これまでのやり方で作ってきたつながりを、今の時代に合わせて「創って」いかなければならないということなのでしょう。いままでの自分のかかわり方を「かえる」ことが求められているのですね。



「つなぐ・ささえる・まもる・つくる・かえる」のスローガン。

これを作った諸先輩方は、こんな時代も見通して私たちの基本を押さえていたのかなと感じています。厳しい時代のなか、個々の力は小さいですが、社会福祉士として会に結集し、力を合わせてつなぐ・ささえ・まもり・つくり・かえていきましょう。

# 新役員 紹介

①名前 ②年齢 ③星座 ④勤務先(主な業務) ⑤趣味・特技 ⑥新役員になりコメント

☆☆

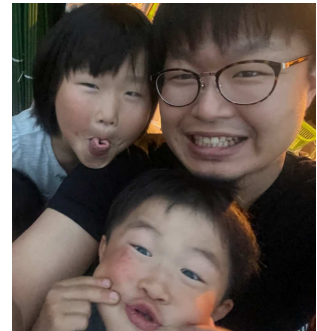
①庄司 圭佑(しょうじ けいすけ) ②33歳 ③かに座

④鹿追町役場保健福祉課(鹿追町地域包括支援センター)

⑤登山・キャンプ・ツーリングなどのアウトドア全般

⑥鹿追町役場保健福祉課の庄司です。このたび、幹事を拝命致しました。もともとは、介護老人保健施設で介護福祉士として働いていましたが、様々な福祉の現場を見て勉強したいと思ったことがきっかけで転職し、現在は地域包括支援センターの社会福祉士と居宅介護支援事業所のケアマネを兼務しています。「相談してよかった」と思ってもらえることを一番に考え、町民に身近な相談援助職として活躍できるよう日々奮闘しています。社会福祉士会のことはまだまだ知らないことばかりで、ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、

皆様のお力添えをいただきながら、社会福祉士として活動を進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



☆☆

①久保 晃利(くぼ てるとし) ②46歳 ③射手座

④福祉・キャリア研究所 Precious Life (個人事務所)  
(専門職後見人、非常勤講師、非常勤相談員等)

⑤ホームシアター、料理、ドライブ、バドミントン

⑥私は、基礎研修を担当させていただいております。基礎研修は、社会福祉士として共通に必要な価値・知識・技術を学び、社会福祉士の専門性を身につけることを目標としています。その中でも特に基礎研修Ⅰで学ぶ倫理綱領・行動規範は社会福祉士としての土台になる部分です。この土台をしっかりと作っていくためにも一人でも多くの方に基礎研修を受けていただきたいと思いますし、基礎研修を受講される皆さんが、スムーズに受講できるように運営していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



☆☆

①椎名 成(しいな なる) ②45歳 ③射手座

④市議会です

⑤魚釣り、アウトドア

⑥新役員をさせて頂くことになりました椎名と申します。主に、障がい者作業所や高齢者デイサービスに従事してきました。お役に立てるか不安ですが、先輩についてがんばって参ります。

コロナ禍の中で、益々社会福祉士の役割がより必要になっていると感じています。地域の中で奮闘する社会福祉士の方々が、より活躍できるようなサポートを目指していきたいと思っております。

話は変わりますが、先日、ソーシャルワーカーカフェに参加させて頂きました。すごく暖かい先輩の激励に感激しました。是非、多くの方にこういった場にも参加してもらえたらと思います。



編集担当より  
この度発行が大幅に遅れましたこと深くお詫び申し上げます。  
編集に時間を要したため、記事の内容にずれがありますこと重ねてお詫び申し上げます。  
今後スムーズな発行を目指して参りますので、何卒宜しくお願い致します。